

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動など、各高校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

12月号の目次

1 特色ある取組

- (1) 白石高校七ヶ宿校 (2) 大河原産業高校 (3) 角田高校 (4) 名取高校
- (5) 県工業高校 (6) 仙台第三高校 (7) 宮城野高校 (8) 松島高校
- (9) 黒川高校 (10) 加美農業高校 (11) 古川工業高校 (12) 登米高校
- (13) 登米総合産業高校 (14) 迫桜高校 (15) 石巻好文館高校
- (16) 石巻西高校 (17) 本吉響高校 (18) 気仙沼向洋高校
- (19) 第二工業高校 (20) 田尻さくら高校

2 学校紹介

- (1) 蔵王高校 (2) 柴田高校 (3) 仙台三桜高校 (4) 古川高校
- (5) 古川黎明高校 (6) 鹿島台商業高校 (7) 小牛田農林高校 (8) 石巻工業高校
- (9) 東松島高校

3 コラム

- (1) 涌谷高校

1 特色ある取組

(1) 白石高校七ヶ宿校

〈4年ぶり「七ヶ宿町学校音楽祭」で全校合唱にチャレンジ！〉

白石高校七ヶ宿校は、大自然の中にある小さな学校です。七ヶ宿町は、宮城県で最も人口の少ない町。それだけに地域との結びつきは強く、町民あげての〈運動会〉や町内小・中・高校4校合同で〈学校音楽祭〉〈スキー大会〉などの行事があります。今年はその学校音楽祭が、コロナ禍を経て、4年ぶりに開催され、七ヶ宿校は全校合唱に取り組みました！歌いたい曲のアンケートに始まり9月から準備を開始…とはいうものの、音楽の授業も音楽室もない七ヶ宿校。「でも歌なら誰もが取り組める」と、週2回ほど、昼休みの15分間、2年生教室に集まり、「COSMOS」「フリージア」「校歌」の3曲を練習しました。本番は、職員も加わり、まさに「全校合唱」に初めて取り組むことができました。

実はその前日、「宮城県高等学校音楽祭」があり、有志生徒6人（+教員1名）で、初チャレンジ（出場）しました！！会場である日立システムズホールは県内でも大変立派な響きのよいホールとして有名です。会場に到着し、他の学校の部活動で鍛錬された管弦楽やギター・マンドリン合奏など、すばらしい演奏の数々を聴き、緊張感はマックス…！！ではありましたが、本番は、七ヶ宿校らしく、のびのびと、歌を披露することができました。講師の先生からは「‘音楽とは’を考えさせられる演奏でした。胸がいっぱいになりました。何より歌う表情が素晴らしい」等、嬉しいお言葉をいただき、達成感と感動が胸に広がる一日となりました。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://sitika.myswan.ed.jp/>

(2) 大河原産業高校

<社会で活躍する人材を目指して>

今回は、本校の企画デザイン科と総合ビジネス科の取組についてご紹介します。

企画デザイン科は、地域デザインを目的とした県内初の商業系デザイン学科です。1年生では、「商業デザイン実習Ⅰ」や「CGデザイン実習」という学校独自の科目で、フィールドワークや講演会をとおして地域への理解を深めたり、iMacを使用して農業科学科が栽培した野菜や加工品の宣伝ポスター、商品ロゴなどを作成したりしています。2年次以降も、企画デザイン科ならではの授業等をとおして、更に学びを深めていきます。



<情報処理>

<CGデザイン>



総合ビジネス科は、1年次には全員が同じ教育課程で、コンピュータを活用した情報処理や会計帳簿を作成する簿記などの商業の専門分野について幅広く学びます。2年次からは、流通ビジネス科、情報ビジネス科、会計ビジネス科の3つの学科に分か

れ、それぞれの学科で専門分野を深く学び専門性を高めていきます。

<簿記>

<学校のホームページはこちらです>

<https://daisan.myswan.ed.jp/>

(3) 角田高校

<宇宙航空研究開発機構（JAXA）との取組>

角田市の地の利を生かし、JAXA 角田宇宙センターに協力をいただいています。

<JAXA 新人職員の方々による講演会（5月）>

5月12日（金）に、1年次を対象にした、JAXA宇宙航空開発機構の新人職員の方々4名による講演会を行いました。4名の新人職員の皆さんは、なぜ宇宙に興味をもったのか、進路をどのように選択し、宇宙研究の道に進むことを決めたのかなど、自らの経験を熱心に話してくださいました。

<角田高校サイエンス研修（10月）>

10月26日（木）・27日（金）に1泊2日の日程でJAXA 相模原キャンパスおよび調布航空宇宙センターを本校生徒が訪問し、宇宙開発や最新の研究について学ぶ「サイエンス研修」を実施しました。

JAXA 相模原キャンパスでは、職員の方から展示についての説明を受けました。参加した生徒は日本の技術力の高さを目の当たりにしたことで大いに刺激を受けました。自身の進路について考える貴重な経験となりました。



JAXA 新人職員の方々による講演会（5月）



角田高校サイエンス研修（10月）

<学校のホームページはこちらです>

<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

(4) 名取高校

＜介護の仕事について理解を深める特別授業を開催＞

福祉について学んでいる生徒を対象に、介護の仕事の理解を深める特別授業が開催されました。

はじめに宮城県の高齢者福祉の状況や介護職の説明の講義があり、その後、VR 認知症体験・コミュニケーションロボット体験・電動車椅子体験が行われました。

生徒の感想の中には、「VR の体験を通して、考えるだけでは難しい“認知症の高齢者の気持ち”というものを体感することができた」、「介護業界がロボットなどを活用して仕事の環境が良くなっていることを知った」、「電動車椅子は思ったよりスピードが出て驚いたが、操作が簡単で自由に動けることがわかった」など、机上の学習だけでは気づくことのできない感想が多く、体験学習ならではの学びを得ることができました。

生徒にとって非常に貴重な時間となりました。



＜学校のホームページはこちらです＞
<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(5) 県工業高校

〈宮城県工業高校 創立110年の伝統と未来を祝う〉

宮城県工業高校は、2023年11月10日（金）に創立110周年を迎え、その歴史と未来を祝う会を開催しました。この日は、学校の歴史を祝福し、新しい時代への希望と前進を象徴する機会となりました。

式典は、前半の実行委員長の挨拶から始まり、これまで学校を支えていただいた方への感謝状の贈呈を行いました。後半は、元同窓会長である斎輝夫先生の記念講演から始まり、「県工110年の歩みと在校生の輝ける未来へ」と題した講演で、学校の長い歴史と県工生としての誇りを熱く語り、生徒たちに深い印象を残しました。

続いて、生徒たちがデザインした110周年記念のクリアファイルとオリジナルキャラクターが紹介されました。クリアファイルは、学科ごとの特色を描きながらも黒を基調としたデザインで表現し、学校のアイデンティティを日常的なアイテムに落とし込みました。

映像研究愛好会による「110年の歩み」の動画上映では、愛好会員の生徒たちが過去10年分の工鵬1400ページ以上という膨大な素材から動画を作成してくれました。AIを活用したテキストマイニングを取り入れるなど新しい試みがなされていました。学校の歴史を継承し、新しい世代へと伝える重要な役割を果たしました。

式典のクライマックスは、野球部とサッカー部の生徒たちによる凱歌の披露でした。勝利を分かち合う凱歌は、生徒たちの団結と学校への誇りを示し、未来への新たな一歩を象徴していました。

宮城県工業高校の110周年記念式典は、学校の伝統と革新を祝い、生徒たちに誇りと希望を与える、忘れられないイベントとなりました。生徒たちの積極的な参加は、これからも続く学校の豊かな歴史の一部となるでしょう。



斎先生による記念講演 輝く未来は校歌に示されている



(←在校生がデザインした
クリアファイル)
全校生徒に配布されました



映像研究愛好会 製作の映像



勝利の歌「凱歌」を高らかに歌う野球部とサッカー部

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>

(6) 仙台第三高校

<SSH 中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラムの御案内>

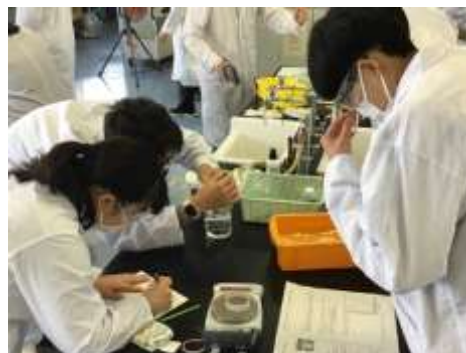
本校では、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校として「SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラム」を行っています。SSH事業は今年度が第Ⅲ期の2年目となります。また、本校ではSSH事業と連携して授業づくり研究センターが中心となり、全職員でPBL（課題解決型学習）や教科等横断型の授業など、実践的教育プログラムの開発に取り組んでいます。

今年度のフォーラムは12月19日（火）に本校を会場として、これまで実践してきた成果を報告いたしました。当日は、一般社団法人こたえのない学校代表理事の藤原さと氏をお迎えし、御講演を行っていただきました。

また、毎年東北大学グローバルラーニングセンターの留学生の方々に、理数科の課題研究を英語で発表するためのサポートをしていただいております。今年は6月から9回のセッションを行います。12月には国立台湾師範大学附属高級中学と交流し、課題研究の口頭発表を行う予定です。

仙台三高は、これからも教員と生徒が共に研鑽を積みながら学校を作り上げます。

<昨年度の様子>



<学校のホームページはこちらです>

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

(7) 宮城野高校

<公開授業研究会が開催されました>

宮城野高校では、11月8日(水)に「公開授業研究会」が開催され、他校からの参加者を含めて約80名の教職員が集まり、研鑽を深めました。

研究授業は、「ICTを活用した学び」、「探究的な学び」、「教科・領域横断的な学び」の3系統で計9件でした。いずれの研究授業も入念に工夫されており、生徒たちが生き生きとした表情で学ぶ様子が見られました。

午後は、元花巻北高校長・下町壽男先生をお招きしての基調講演と、午前中の研究授業に関する分科会が行われました。基調講演で下町先生は、①コンピテンシーとは何か～育てたい生徒像を共有する～、②学校教育におけるウェルビーイング、③評価について、④主体的・対話的で深い学び、の大きく4つの柱でお話をされました。「教育のミッションは幸福度をあげること。生徒が主体的に学ぶためには対話の時間や、他者へのやさしさ(共感)を持つことが必要」という言葉が印象的でした。

分科会は、研究授業の3系統に分かれて実施されました。どの分科会でも活発な意見交換が行われました。



<学校のホームページはこちらです>

<http://miyagino.myswan.ed.jp/>

(8) 松島高校

<松高おもてなしツアーが実施されました>

令和5年11月3日(金)に観光科第3学年の生徒が企画した観光商品「松高おもてなしツアー2023」を宮交観光サービス株式会社様の御協力のもと実施しました。

生徒は、藻場再生活動体験・抹茶体験・人形制作体験の手ほどき・国宝瑞巖寺、五大堂や円通院のガイド・松島武将隊演武披露を行いました。また、昼食については洗心庵様の御協力で生徒が考案したおもてなしツアー限定オリジナルメニューのランチを提供しました。当日の運営だけでなく、事前準備の装飾やリーフレット・メッセージカード制作等もチームに分かれて準備をしてきました。

当日は、天候にも恵まれ、約35名のお客様に御参加いただきました。参加者からは、「大変楽しい一日をありがとうございました。いい思い出です」「松島の観光地をめぐり、生徒たちのガイドがわかりやすく楽しかった。お昼ご飯がとても美味しかった」と感想をいただくことができました。企画した生徒からは「3年間学んできたことを十分に発揮し、松島の魅力を伝えることができ、お客様にも満足していただけた、最後の集大成にふさわしいガイドができました」と話をしていました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(9) 黒川高校

<普通科の探究学習「くろたん」>

本校の普通科では、一人ひとりの個性を伸ばし、基礎的な学力の定着に加え、豊かな表現力や想像力を身に付けることで、進学から就職まで多様な進路に対応できる学習に力を入れています。

「総合的な探究の時間」は『くろたん（くろこうのたんきゅう）』という名称で、入学から卒業までの3年間にわたり継続的な探究活動を行っています。1年生は、探究の手法やテーマ設定の仕方を学びつつ、グループに分かれて思考力や情報収集能力を高める学習に取り組んでいます。2年生は、「地域課題の探究と課題解決」を大きなテーマとし、本校が所在する大和町の「まちづくり」を探究活動の対象としています。地域理解を深め、地域振興や文化・歴史、商工業の発展や安全・防災、医療・福祉などの多様な分野が抱えている現状の課題について、生徒が主体的に調査・考察し、その成果を発表する計画です。12月5日（火）に大和町役場を訪問し、4課9名の大和町職員の方々に直接お話を聞くことができました。地域の将来を支える人材となるべく、生徒は熱心に説明を聞き、質問を重ねていました。3年生は、これまでの探究活動の総まとめとして「大和町に住みたくなる動画」の作成に挑戦しています。



地域と密着し「地元」がもっと好きになる探究活動を一つのきっかけとして主体的・協働的な学びを深めてみたいと思う中学生の皆さんは、ぜひ黒川高校への進学を考えてみてください！

<学校のホームページはこちらです>

<https://kurokawa.myswan.ed.jp/>

(10) 加美農業高校

<寮の紹介>

本校には寮があります。寮では規則正しい共同生活が基本です。寮生活は寮生会という寮生の自治組織でルールを決めたり、各種交流行事の企画・実施を行ったりしています。

寮にも入寮式や運動会など様々な行事がありますが、生徒たちの一番人気は何と言っても11月の「寮祭」です。寮祭は夜に行われ、寮生全員が楽しめる行事です。スポーツ大会、ビンゴ大会などいろいろな催し物のクライマックスに火文字を行います。火文字は、3年生の寮生が中心となり、約2週間かけて稲わらを編んでつくります。それに火を灯し、校訓である「耕心」の文字を浮かび上がらせ、寮生は目と心に焼きつけ、気持ちを新たにします。



親元を離れ、同世代の仲間と共同生活ができることや社会への自立に向けた準備ができるのも本校の特徴のひとつです。

学校のウェブサイトでは寮生活の様子を「耕心寮ブログ」で公開しています。是非御覧ください。

<学校のホームページはこちらです>

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(11) 古川工業高校

<電気電子科 電気工事講習会>

電気電子科では、毎年11月に株式会社ユアテック人財育成センターより講師の先生をお招きして電気工事講習会を行っています。電気工事の現場で活躍してこられた方から、直接、知識や技術を教えていただける機会とあって、生徒達も普段以上に真剣な表情で講習を受けています。電気工事の作業には、電気が通った時のなんとも言えない感動がある一方で、正しい知識がないと感電などの危険な事故につながる恐れがあるため、常に緊張感があります。

この講習会で得た知識と技術を生かし、国家資格の合格、さらには電気工事の世界で活躍する人が出てくることを期待しています。



<学校のホームページはこちらです>

[https:// furukk-h.myswan.ed.jp/](https://furukk-h.myswan.ed.jp/)

(12) 登米高校

<登米小での読み聞かせ活動>

登米高校では、隣接する登米市立登米小学校の「朝の読書タイム」（8時分～30分）に合わせて訪問し、大型絵本や紙芝居の読み聞かせをする活動を続けて来ました。

普段の登米高校生は、「朝の読書」が始まる8時30分までに登校することになっていますが、「読み聞かせ」に参加する生徒は8時過ぎに集合して、小学校に向かいます。早起きしての登校は大変なはずなのですが、小学生との交流が楽しくて、毎年、2回3回と回を重ねて参加する生徒がたくさんいます。図書委員や、ボランティアに興味のある生徒、家庭科「子どもの発達と保育」受講者などの進路を意識する生徒が参加します。

今年度は登米小学校の1年生から3年生までの教室に伺っています。6月から始まって11月までの間に計4回の活動を行うことができました。今年度もほぼ例年とおりの回数を実施できそうです。

年度の前半は昨年度までに経験を積んだ3年生を中心に行います。興味はあるものの自信がなくて躊躇している生徒は、見学会に参加してから、年度の後半に読み聞かせを体験しています。

先輩や図書館司書からアドバイスをもらったり、事前に練習を重ねたりして当日を迎えます。過去の記録なども参考に、各学年の児童に合わせた本選びや、話し方などを工夫しています。参加者からは「みんな反応がよく、楽しんでくれているのが伝わってきて、行ってよかったなと思った。」「人物によって声色を変えて話せたのでよかったと思いました。」などの感想が寄せられ、生徒自身も楽しい時間を過ごしているようです。



<学校のホームページはこちらです>
<https://tome-h.myswan.ed.jp/>

(13) 登米総合産業高校

<各学科の取組>

○農業科

11月11日(土)、本校で「みやぎ県民大学 学校等開放講座 登米市のリンゴでリンゴジュースをつくってみませんか」を開催しました。仙台市内、登米市内から12名の参加をいただき実施しました。農業科の生徒が講師をつとめ、参加者と一緒にリンゴジュースをつくりました。



○電気科

11月9日(木)、電気科2年生徒がコアテック人材育成センターと東北送配電サービスを訪問して、現場で使用する設備を用いて、実践的な体験を行う施設見学を実施しました。電気設備の保安業務の実技体験を行い、進路選択のための知識を深めることができました。



○情報技術科

地域の社会人と一緒に、11月29日(水)、登米市立北方小学校1、2年生の児童に、「Scratchプログラミング」の出前授業を行いました。生徒は、緊張しながらも丁寧に教えていました。この授業は来年1月にも南方小学校において行われる予定です。



<学校のホームページはこちらです>

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(14) 迫桜高校

<シクラメン・農産物販売会>

11月25日(土)、本校農場にてシクラメンと農産物の販売会が行われました。アグリビジネス系列の生徒が丹誠込めて育てた花と野菜は、毎年地域の方々に大人気です。

当日は穏やかな晴天のもと、開店前から多くの地域の方々に御来場いただき、温室の外まで大行列ができる盛況ぶりでした。

訪れた方々は、色とりどりで種類も豊富なシクラメンの中から気に入った花を、先を争うように選んで購入してくださいました。また、温室を出た先には農産物の販売コーナーがあり、ここでも市場より3~5割安い野菜をたくさん御購入いただきました。御来場いただいた皆様、ありがとうございました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(15) 石巻好文館高校

<総合的な探究の時間「甲斐たいむ」>

本校では、総合的な探究の時間のことを「甲斐たいむ」と呼び、各年次で特徴ある活動をそれぞれ行っています。今回は1年生の活動を紹介します。

10月21日(土)、1年生は、「SDGs 探究活動発表会」を行いました。1年生はこれまで、NPO 団体からお話を聞いて地域の課題を発見し、その課題について自分たちができる解決策を考えてきました。当日は、本校2年生、他校の代表生徒、NPO 団体、保護者に向けて、探究の成果をポスターを用いて発表しました。地域に根付いた興味深いテーマが多く、発表者も聴衆も、新たな気づきを得ていました。生徒からは、「Web サイトで調べただけなのと、実際に現場に行ったり、活動を行っている人に話を聞いたりするのでは、その問題への理解度が全く違うと思いました。来年度の分野別課題研究では、現場を実際に訪れ、理解度を高め、より深く現実的な解決策を考えていきたいです。」という感想がありました。

2年生の「分野別課題研究」、3年生の「自己実現研究」の様子については、本校ホームページに、随時更新しておりますので、御覧ください。



<学校のホームページはこちらです>

<http://koubunkan.myswan.ed.jp>

(16) 石巻西高校

＜地域をフィールドにした探究活動の取組＞

本校は、昨年度より三菱みらい育成財団「心のエンジンを駆動させるプログラム」採択校として、総合的な探究の時間を柱に地域資源や地域人材を積極的に活用した探究的な学びや課題研究に取り組んでいます。

具体的には、1年生で地域の社会人にインタビューを行う「街ライブラリー」、地域事業所から提示された課題に対し、体験・活動を通して解決策を考える「街ミッション」、2年生で自分の興味関心をもとに課題を設定し、現地調査や取材活動を行う「街クエスト」を行います。3年生では、自分の将来を見据えて課題を設定し、地域の大人から助言をもらう「作戦会議」やフィールドワークなどを通して「地域課題研究」を行います。生徒のコミュニケーション力や自己肯定感を高め、地域・社会貢献意欲等の向上を図り、新しい社会や未来を創造する市民の育成を目指します。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://inishi.myswan.ed.jp/>

(17) 本吉響高校

<冬でも行きます「自然観察」>

本校には、全国的に見ても非常に珍しい「自然観察」という授業があり、3年次で選択することができます。これから冬になりますが、積極的に外に出て、様々な生物の観察を通して身近な自然環境について学びます。この時期は、以下のようなテーマで実施しています。

- 種子散布…植物の種子や果実には、遠くに運んでもらうために施された様々な工夫が見られます。種子散布が巧みな植物について、観察を通してその散布メカニズムを考えます。
- 野鳥…落葉が進むと、木にいる野鳥が観察しやすくなります。登校坂を下るとすぐの津谷川まで行けば、カワセミや多様なサギ・カモ類を観察できます。鳴き声や体のサイズ、色などを参考に、身近な野鳥の種類を調べます。
- 冬芽…葉が落ちて落葉広葉樹には観察のポイントがあります。樹木によって冬芽の形状は非常に多様で、冬芽から樹木の種類を同定することができます。葉のついていた部位（葉痕）は動物の顔のような可愛い模様があります。



	種子・果実の全体像	散布のしくみの拡大図 +説明
種名 イノゴツキ 実物(左)		「ハフリン型」 おれに付いて いる細長い 羽が広がって くっつくにつ て広がって
種名 ミズタマノク 実物(左)		「ヤドリ型のフワ」 先端が フワフワに 広がって いるので リヤク な風
種名 アサカサゲのサトウ 実物(左)		「トナリ」 2つの部分 部分に分 かれて おれに付 いて おれに付 いて
種名 クサキ 実物(左)		先端にかかっている おれに付いて おれに付いて おれに付いて おれに付いて おれに付いて

<学校のホームページはこちらです>

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

(18) 気仙沼向洋高校

<向洋さんま缶詰製造・販売実習>

気仙沼向洋高校は、産業経済科が製造する「向洋さんま」缶詰で、国際的な衛生管理手法である HACCAP の認証を受けています。同科で学ぶ2、3年生が実習で製造しており、お客様のもとへ届くまでの全工程を生徒が行っています。

【向洋さんま缶詰製造工程】

- ①解凍 凍結されたサンマに水をかけながら解かす。
- ②切断 まな板の線に合わせて1尾1尾手作業で切る。
- ③塩析 3%食塩水に漬けて、血や水溶性のタンパク質を除く。
- ④肉詰 サンマを165gに量り取り、このサンマを菊の花のように1つ1つ手作業で缶に詰める。
- ⑤注液 生姜の効いた秘伝のタレを35ml注ぐ。
- ⑥巻締 脱気しながら缶蓋を巻き締める。
- ⑦殺菌 レトルト殺菌釜で、115℃、90分間殺菌する。
- ⑧冷却 殺菌後の缶詰を冷水中で急冷する。
- ⑨缶拭 表面の水分を拭き取り、缶の外観に異常がないか確認する。
- ⑩検査・保管 できた缶詰の一部について恒温検査、細菌検査、ヒスタミン検査を行う。
- ⑪ラベル巻 缶詰に異常がないか最終確認しながらラベルを巻き、賞味期限を印字する。

上記の流れで製造した「向洋さんま」缶詰は、地元のイベント等にて生徒が販売します。今年度から通常開催となった本校の文化祭で販売した際は、生徒や保護者の皆様だけでなく、足を運んでくださった地元の方々によって長蛇の列ができました。



<製造の様子>



<完成したさんま缶>



<販売会の様子>

<学校のホームページはこちらです>

<https://kkouyo-h.myswan.ed.jp/>

(19) 第二工業高校

<電気科「特別編入制度」について>

本校電気科は電気主任技術者の認定校になっており、卒業後に所要の実務経験により第三種電気主任技術者（いわゆる「電験三種」）の資格を取得できます。

さらに、本校の特色として「電気科特別編入制度」があります。これは高校を卒業した方を対象とした編入学制度で、電気科の3年次に編入して電気関係の科目を2年間（3、4年次）学び、電気主任技術者や電気工事士などの資格取得を目指すことができる制度です。

編入学の理由としては、「勤務している会社の業務の中で資格が必要になった」「知識や技能を改めて身に付ける必要がある」「家業を継ぐことになり資格が必要になった」など様々な理由によりますが、編入生はそれぞれの目標に向かって日常の勤務と並行しながら日々しっかりと学業に取り組んでいます。

一般の生徒と一緒に受ける授業や実習もあり、特別活動や学校行事にも楽しく積極的に参加しています。目標に向かって熱心に勉学に励む編入生の姿は、ともに学ぶ一般生徒の良きお手本になっています。

令和6年度の特別編入試験は令和6年3月18日（月）に実施しますが、事前の資格審査を必要とするため2月9日（金）までに必ず学校に問い合わせをしてください。

なお、特別編入試験に関する詳細は学校ホームページを御覧ください。



<学校のホームページはこちらです>

<https://m2k.myswan.ed.jp/>

(20) 田尻さくら高校

<さくらチャレンジ講座 2023>

本校開校から2年目の平成21年度から実施している「さくらチャレンジ講座（科目履修生）」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止を余儀なくされてしまいましたが、4年ぶりに再開することができました。

「中国語」「韓国語」「茶道入門」「陶芸」などの特色ある科目15講座を開講

し、47歳から81歳の49名の方が、本校生徒と一緒に授業を受けています。

聴講生の方からは「異世代間の交流ができ、嬉しい」、「生涯学習の場として役に立っている」、「趣味の充実になっている」。生徒からは「授業が盛り上がってよい」、「違う年齢の方とお話することができ、自分の幅が広がるのでよい」などの感想が出ています。

本校の「地域と共にある学校」という本来の姿が復活してきました。また、社会の目が校内にあることで、生徒、聴講生の学校生活に相乗効果が生まれています。

現在、令和6年度「さくらチャレンジ講座」開講に向けて準備を進めているところです。令和6年2月上旬頃から本校HP、大崎市の広報、田尻支所だよりなどで募集する予定ですので、ぜひ申込みしていただければと思います。



<学校のホームページはこちらです>

<https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/>

2 学校紹介

(1) 蔵王高校

<福祉の授業が充実 「介護職員初任者研修」資格取得を目指して！>

蔵王高校では、高齢化社会に対応し、地域に貢献できる人材の育成を目指して、2年生から選択科目として「福祉」の授業を設定しています。2、3年生で介護職員初任者研修の科目を学び修了試験に合格すると資格を取得することができます。

令和2年度は3名、令和3年度は6名、令和4年度は4名が修了し、それぞれが資格を生かして福祉施設などに就職をしました。授業で基礎的な生活支援技術を学び、夏休みには施設実習や訪問介護の同行実習を体験します。実際の介護の現場で得られる学びは、貴重な財産です。

蔵王高校では進学、就職等のあらゆる生徒のニーズに応えるためのカリキュラムを用意しています。さらに、少人数であればこそ一人一人に対して丁寧な指導をすることが可能です。落ち着いた環境の中で、優しい先輩たちや級友たちと一緒に、あなたも学んでみませんか。



<学校のホームページはこちらです>

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 柴田高校

<学芸部紹介>

現在、本校の学芸部では、音楽部（吹奏楽）、音楽部（軽音楽）、家庭部、美術部、囲碁将棋部、茶華道部、サイエンス部の7部が活動しています。

運動部の活躍が目立つ柴田高校ですが、学芸部が輝く機会も多々あります。吹奏楽・軽音楽の両音楽部は、文化祭でのステージ演奏のほか、学外でのコンクールや大会にも参加し、日々練習を重ねています。

また、文化祭では、家庭部による手芸品の製作や販売、茶華道部の茶道の実演お茶会などが行われます。どの団体も毎年注目を集め、柴高祭には欠かせない存在です。今年も大いに盛り上げてくれました。

そのような場は校内にとどまらず、吹奏楽のコンクール出場、茶華道部の「花いけGO！全国高校生花いけバトル東北大会」準決勝進出、サイエンス部は宮城県高等学校生徒理科研究発表会に参加する等、各種大会へも積極的に出場しています。

部活動の様子は随時ホームページでも更新していきます。どうぞ御覧ください。

<学校のホームページはこちらです>

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

(3) 仙台三桜高校

<令和5年度 秋季体育大会 開催される>

10月5日(木)に令和5年度秋季体育大会が開催されました。

春季体育大会(4月)、合唱コンクール(7月)、三桜祭(9月)とならんで三桜高校の4大行事と呼ばれる行事で今年度最後のイベントとなります。

春季体育大会は球技が中心の行事だったのに対して秋季体育大会はトラックとフィールド競技が中心の体育大会です。

3年生にとっては高校生活の最後の行事ということもあって、3年生実行委員を中心に準備から一生懸命に取り組んでいました。例年の事ですが、この行事が終わると、3年生は受験本番を迎えて一線から退くことになり、生徒会役員など主だった役割が2年生にバトンタッチされます。

【秋季体育大会を終えた生徒の感想】

(生徒用アンケートから抜粋)

- ・委員がしっかり仕事を行っていたので良かった。
- ・春季体育大会の時よりクラスや学年の皆と仲が深まり挑んだこの秋季体育大会、お互いの応援は春季の時よりも増して、他クラスの応援まで聞こえたり、競技に出ている人はもちろん出していない人も競技に参加しているようでとても素敵な体育大会だったと思います。
- ・バレーなどの球技もあると、競技に参加する人数も増え、クラス内、チーム内での団結力、良い雰囲気が高める、作ることができるため、より楽しめると思う。
- ・とても楽しかったです!ありがとうございました。
- ・ポイントは関係なしに、部活対抗の種目があるともっと盛り上がると思いました。

<令和5年度 第2回 Open Campus 開催される>

10月14日(土)に第2回 Open Campus が本校を会場に開催されました。

当日は多くの中学生とその保護者が来校して本校についての説明を熱心に聞き入っていました。本校からは担当職員による学校説明のほか、映像を用いながらの生徒会役員による学校生活の紹介、さらに卒業生による三桜高校における三年間の高校生活についてお話をしてもらいました。体育館での締めくくりは音楽部による校歌披露で、その後三桜高校の校舎を見学してもらい終了となりました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>

(4) 古川高校

<大学出前講座>

10月24日(火)に大学出前講座を実施しました。今年度は本校に、東北大学(経済学部・工学部)・宮城大学(事業構想学群)・弘前大学(医学部)・岩手大学(理工学部)・山形大学(理学部)・福島大学(人間発達文化学類)・山梨大学(水素・燃料電池技術支援室)・東北医科薬科大学(薬学部)・東北学院大学(文学部・法学部)・東北工業大学(建築学部)・東北福祉大学(教育学部・総合福祉学部)の11大学から14名の講師の先生にお越しいただきました。当日は、1、2年の生徒全員と3年生の生徒数名が、希望する2講座を受講しました。生徒の感想からは、次のようなものがありました。「『教育』という一つの 카테고리でも内側を深く見ていくと、心理学・行政学・歴史学といった様々な学問と関わり合いながら成り立っているということを学びました。私にとって教員になることは一つの目標でしたが、特にこれといった具体的なイメージは湧いていませんでした。しかし、講義を受けたことで教員の表側ではなく少し裏側の部分も知ることができ、自分にとって『なりたい教員』のイメージがくれたような気がしました」、「水素エネルギーの需要がないと研究ももっと遅れてしまうから、その普及の活動をするのが大切だとわかりました。今回の講座で、社会を次のステップに動かしていくのは、理系だけでなく文系的な領域も関わり、経済などの分野が実は重要であることがわかりました」。

また、講師へのアンケートからは、生徒が意欲的に取り組んでいるとの感想を多くいただきました。「生徒さんたちは意欲的に受講してくださり、大変ありがたい気持ちとなりました」、「高校1、2年生には難しい内容にも関わらず、しっかり聴いていただけただけで、物事に少しでも興味をもてるきっかけになったらよいと思います」生徒たちは、新しい発見があったり、一層興味をひかれたりした様子が窺え、今後の進路活動につながるものとなりました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(5) 古川黎明高校

<黎明は部活もがんばっています!!>

<運動部>

○なぎなた

県高校総体演技競技 1位・個人試合
2位 (東北大会・全国大会出場)
団体試合 2位 (東北大会出場)
県新人大会演技競技 2位 (東北新人
大会出場)

○卓球

県新人大会女子ダブルスベスト8

○ハンドボール

県高校総体ベスト8
県新人大会ベスト8

○新体操

県高校総体団体 4位 (東北大会出場)
県新人大会団体 3位 (東北新人大会出場)

<文化部>

○コーラス

合唱コンクール県大会金賞 (東北大会銅賞)
合唱アンサンブルコンクール県大会金賞

○吹奏楽

県吹奏楽コンクール銅賞



○水泳

県高校総体個人種目 1位入賞
(東北大会出場)
県新人大会個人種目 2位入賞
(東北新人大会 3位)

○剣道

県高校総体女子団体ベスト8
県新人大会女子団体ベスト4 (東北新人
大会出場)

○陸上競技

県高校総体入賞 (東北大会出場)
県新人大会入賞 (東北新人大会出場)



○書道

県高校書道展覧会「推薦」ほか入選多数

○美術陶芸

河北展入選 登米展登米大賞
黒板アート甲子園動画の部最優秀賞
(3年連続)

県高校美術展・ポスター展最優秀賞

○文芸

全国短歌甲子園 2023 出場
県文芸作品コンクール詩部門優秀賞
全国文芸コンクール入選

※ SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 関係は、本校 HP に掲載しております。

<学校のホームページはこちらです>

<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

(6) 鹿島台商業高校

< 鹿島台商業高校と一緒に学びませんか！ >

本校は、大崎市鹿島台に所在する学校です。地元大崎市だけではなく東北本線を利用して塩竈市、多賀城市、利府町方面からも多くの生徒が通学しています。

本校では、学んだ知識・技術を生かし地域に還元する活動がとても盛んです。例えば、2年生を中心に商業科の学習で学んだ知識を生かし、今年11月に鹿島台で行われた、東北最大級の規模を誇る伝統の市「互市」で株式会社ウェルファムフーズのブランド肉「森林どり」の販売を行いました。

また、同日には3年生7名がJR東日本との共同企画「駅からハイキング」を実施し県内外から参加した7名のお客様に、鹿島台の歴史や魅力を伝えました。

「簿記」や「情報処理」といった専門科目を学び、在学中に多くの検定試験に合格するだけでなく、地域に還元する活動も商業高校の魅力でもあります。

中学生のみなさん、鹿島台商業高校と一緒に学びませんか。



秋の互市（11/10～12）

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

(7) 小牛田農林高校

<稲章祭（文化祭）>



<教職員による化粧廻しを着けた開会式>



<入場ゲートにできた長蛇の列>



<農業技術科による野菜販売>

今年の稲章祭（文化祭）も、昨年に引き続き一般公開を含め2日間での開催となりました（10月27日（金）～28日（土））。さらに、今回は模擬店の実施規制が緩和となり、相撲部による「ちゃんこ鍋」や弓道部の「チュロス」、柔道部の「わたあめ」コーナーには長蛇の列ができていました。学芸部（文化部）の展示・発表にもたくさんの見学者が訪れ、日頃の学びの成果を知ってもらうとても良い機会となりました。また、本校農業技術科によるハム・ソーセージ販売や野菜販売は開始後すぐに売り切れとなり、シクラメン販売にもたくさんのお客さんにお越しいただきました。このような形での稲章祭は数年ぶりの開催となり、当時の様子を知る生徒はもういません。教職員と共に手探りの中でその準備を進めてきました。委員会や生徒会は年度当初から率先して何度も集まり、「どうすれば盛り上がる稲章祭となるのか？」の観点で話し合いを重ねてきました。開会式での担任団による「土俵入り」は、本校の卒業生、時疾風関の十両昇進を讃える意味もあり、会場を大いに沸かせました。

晴天に恵まれた2日間、仲間との笑顔の花咲く実り多い稲章祭となりました。来年もみなさんのお越しを心よりお待ち申し上げます。

<学校のホームページはこちらです>

<https://kogotanourin.myswan.ed.jp/>

(8) 石巻工業高校

<石巻工業「ブカツ」通信 2023>

石巻工業の部活動を紹介します。コロナ禍もあけましたが、感染症の予防には注意を払いながら活動をしています。

機械部では、授業でも学ぶ溶接や旋盤加工の競技大会に出場するほか、エンジンを搭載した自作車体で燃費を競う競技（エコラン）やロボットコンテストなど、ものづくり技術を競う様々な大会に向けて活動しています。

サッカー部は総体や新人戦、選手権大会への出場はもちろんのこと、宮城県リーグへも複数チームが参加しており、部員全員が公式戦に出場して活躍する機会を得ており、補欠となる選手はいません。人工芝グラウンドで練習や試合を行うこともあり、環境に恵まれた活動を行っています。今年の新人大会ではその成果が現れ、県大会でベスト 16 に入ることができました。

運動部は、科学的な根拠に基づいたトレーニングを行っており、限られた時間や施設の中でも有意義かつ充実味の味わえる活動を行っています。

紹介した以外にも、たくさんの競技で活躍をしています。石巻工業では「ブカツ」を頑張りたい皆さんを待っている仲間がたくさんいます。一緒に青春しましょう！



<学校のホームページはこちらです>

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

(9) 東松島高校

<秋の行事・取組紹介>

・「東松祭」

今年度は「協心戮力～share the moment, share the memories～」をテーマとして行われました。今回の東松祭は4年ぶりに飲食を伴い、2日目には一般公開も行われ、多くの保護者の皆さまにも来校いただきました。

展示部門では、理科や保健体育、家庭科、選択書道など、授業で作成したポスター、拓本、写真部、ヒーリング部で制作した作品が展示されました。



ステージ発表では、生徒のダンスやバンド演奏、ヒガコス（コスプレ・男装女装など）やカラオケ大会で盛り上がり、全校制作のモザイク壁画や、オールドアメリカンをイメージしたステージ装飾が祭りの雰囲気を取り上げました。

また、同日オープンキャンパスを行い、多くの中学生に御参加いただきました（オープンキャンパスは、12月18日(月)にも実施されました）。

・「劇的空間☆ひがまつ座～演劇的ワークショップ～」

東北大学の虫明教授やPLAY ART! せんだいなどの協力をいただき、演劇的手法で自己表現力を高めるワークショップを年7回行っています。



ホームページでブログ“ひがまつライブ”を更新しています！



<学校のホームページはこちらです>

<https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>

3 コラム

(1) 涌谷高校

＜Ikenobo 花の甲子園 全国大会に出場しました！＞

11月12日（日）京都市で実施された花の甲子園2023全国大会に東北地区代表として出場してきました。

3人1組、1人10分のリレー形式で、いけこみを行います。発表課題「故郷」を花に表現します。当日花材が発表されるので、難しさもありますが、3人で話し合いながら花や草木を選び、1つの作品を作り上げ、その後、3人で作品解説を行いました。地元である涌谷町に対する思いをしっかりとプレゼンできたと思います。生徒たちはよく頑張り「敢闘賞」をいただけてきました。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://wakuya-h.myswan.ed.jp/>